

# 第116回宇宙政策委員会 国土交通省資料

---

令和7年1月27日(月)

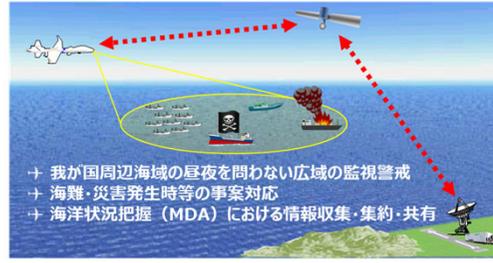
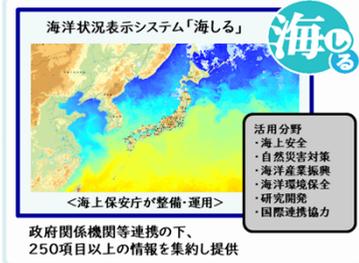
# 国土交通省の主な宇宙施策

R7当初 208.2億円 (R6当初 190.8億円)  
 R6補正 479.5億円 (R5補正 462.0億円)  
 ※下記(1)及び(2)の柱に紐づく施策のみ計上

## (1) 宇宙安全保障の確保

○ 宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大  
 【R7当初 147.8億円(R6当初 118.4億円)、R6補正 222.5億円(R5補正 205.6億円)】

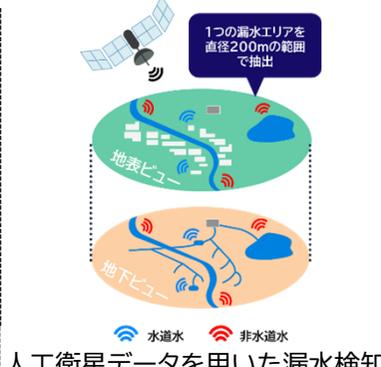
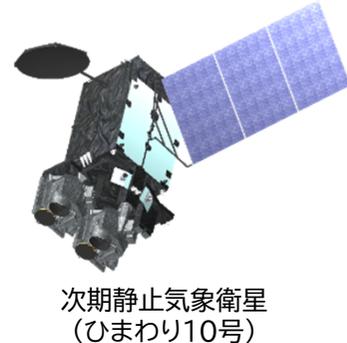
- 海洋状況表示システム「海しる」による情報共有体制の強化 (デジタル庁予算)
- 無操縦者航空機の運用等
- 各種商用衛星等の利活用



## (2) 国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現

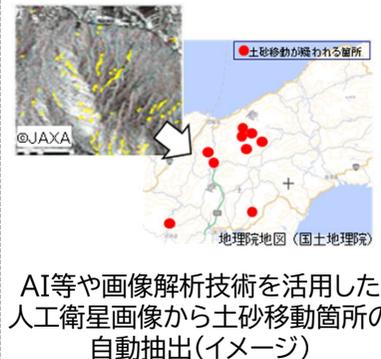
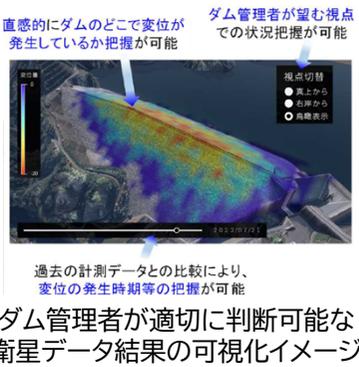
○ リモートセンシング 【R7当初 30.8億円(R6当初 31.5億円)、R6補正 206.1億円(R5補正 207.0億円)】

- 静止気象衛星ひまわりの運用、次期静止気象衛星の整備等
- 災害時における被災状況の把握・インフラメンテナンスへの活用
  - ・ 民間小型SAR衛星情報を活用した地形等変化把握に関する研究
  - ・ 人工衛星の活用による土砂災害・浸水域の早期把握
  - ・ 人工衛星を活用した道路管理
  - ・ 国産SAR衛星を活用したダム安全管理手法の高度化のための研究
  - ・ 上下水道DXの推進
  - ・ 人工衛星を活用した海岸線モニタリング
  - ・ 人工衛星データを活用したダムの安全管理



○ 準天頂衛星システム 【R7当初 28.6億円(R6当初 39.9億円)、R6補正 50.9億円(R5補正 49.3億円)】

- 衛星位置情報の安定的な生成及び提供
- 3次元地図の整備及び3次元点群データの整備・更新
- 自動運転の実現に資する地殻変動補正情報の高度化



○ 衛星開発・利用基盤の拡充 【R7当初 1.0億円(R6当初 1.0億円)】

- 国際連携・海外展開等推進経費 (電子基準点網の海外展開)
- 海外における水災害リスク評価実施普及

## (3) 宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造

○ 月面における持続的な有人活動 【R6補正 3.7億円(R5補正 6.3億円)】

- 宇宙無人建設革新技術開発 (内閣府予算(スターダストプログラム))